

大浦川水系河川整備基本方針

平成 29 年 2 月

鹿 児 島 県

大浦川水系河川整備基本方針

目 次

1. 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針	1
(1) 河川及び流域の現況	1
(2) 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針	3
2. 河川の整備の基本となるべき事項	5
(1) 基本高水並びにその河道及び洪水調節施設への配分に関する事項	5
(2) 主要な地点における計画高水流量に関する事項	5
(3) 主要な地点における計画高水位及び計画横断形に係る川幅に関する 事項	6
(4) 主要な地点における流水の正常な機能を維持するため必要な流量に 関する事項	6

(参考図)

大浦川水系概要図

1. 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針

(1) 河川及び流域の現況

大浦川^{おおうらがわ}は鹿児島県薩摩半島南西部に位置し、その源を磯間山^{いそまやま}(標高362m)に発し、仲組川^{なかぐみかわ}、福元川^{ふくもとがわ}、塘川^{とうがわ}、大王川^{だいおうがわ}、榊川^{さきがわ}等の支川を合わせ、南さつま市大浦町を南から北へ貫流し東シナ海に注ぐ、流域面積36.7km²、流路延長7.6kmの二級河川である。流域は東を長屋山^{ちやうやざん}、南を磯間山^{いそまやま}、西を亀ヶ丘^{かめがおか}の峰々に囲まれており、大浦川はこれらに挟まれた小規模な平野を流下した後、大浦干拓地^{おおうら}を経て東シナ海に注いでいる。流域内はすべて南さつま市大浦町に含まれ、同町の面積の約95%を占めている。

大浦川水系は、年平均気温が18.0℃(2006～2015年の加世田観測所平均値)と温暖な気候である。年平均降水量は2,453mm(2006～2015年の加世田観測所平均値)と多雨であり、これらの降雨の大部分は梅雨期及び台風期に集中しており、災害を受けやすい気象特性を有している。

流域の地質は、下位から前期～後期白亜紀^{しまんとそうぐん}の四万十層群(砂岩・頁岩互層)、新第三紀以降の火成活動に伴う火山性堆積岩類(角閃石安山岩質・角閃石安山岩質碎屑岩類^{かくせんせき})、火山岩類(溶結凝灰岩類^{ようけつぎょうかいがん})、始良カルデラ噴出物が流域全体を覆っている火山灰層となっている。

流域の土地利用状況は大部分が山地であり、スギ等が植林されているほか、なだらかな部分は畑地として利用されている。河川沿いの平地は水田として利用されており、特に大浦干拓の水田は早場米の産地として知られている。

流域内の人口は、昭和20年頃を境に過疎化が進み、現在、昭和25年の人口の約7,800人から約2,000人(平成28年)に減少しており、高齢化率(65歳以上)も46.3%(平成28年)と高くなっている。

流域内の産業は、米、茶、かんきつ類等の農業を主とした第一次産業が盛んであり、大浦川下流の干拓地は、大浦コシヒカリの産地となっている。

第一次産業は昭和30年に80%を占めていたが、昭和55年には45%と50%を下回り平成22年では21%になっている。また、第三次産業は昭和30年に11%だったが、平成12年には61%と過半数を占めるようになった。

大浦川水系の治水・利水・自然環境の概要は以下に示すとおりである。

① 治水の概要

大浦川水系においては、過去に幾度となく水害による被害を受けており、近年では平成9年、平成12年に浸水被害が発生している。

特に、平成12年6月25日の洪水では、連続雨量が334mm、最大時間雨量102mmの豪雨により、床上浸水26戸、床下浸水216戸、浸水面積240haという大きな被害を受けた。

治水事業の沿革としては、大浦干拓事業に伴い昭和17年より河口から大王川合流地点間の河道改修に着手し、昭和40年に完成している。

その後、昭和45年より大浦川合流点（野下橋）から上流で仲組川局部改良事に着手し、昭和63年に完成している。また、高潮対策については、国営大浦干拓事業に伴い既往最高潮位を考慮した堤防高で高潮堤防の整備が完了している。

② 利水の概要

大浦川水系における水利用は、河川沿川や大浦干拓において慣行水利・許可水利としてかんがい用水として利用されている。なお、大浦川流域においては、近年は、渇水被害は生じておらず取水に支障を生じたことはない。

③ 自然環境及び河川利用状況

大浦川の河口部は、日本の重要湿地500に選定されており、また、マングローブ樹種のひとつであるメヒルギの群生地として南さつま市の天然記念物に指定されている。この他、鹿児島県レッドデータブックにおいて絶滅危惧Ⅱ類の指定を受けているタコノアシが自生している。鳥類は、カワセミ、ヤマセミ等の河川環境への依存性が高い種その他、ミサゴ、ハイタカが確認されている。魚類としては、アユが大浦川の中流部まで遡上している。昆虫では、環境省レッドリストの絶滅危惧ⅠB類に指定されているツマグロキチョウが確認されている。

大浦川は水質の環境基準の類型指定を受けていないが、BOD値は大浦川（磯間橋）でAA類型相当の0.5 mg/ℓ，大王川（大王橋）でA類型相当の1.3 mg/ℓと良好な水質が確保されていると考えられる。

(2) 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針

大浦川水系では、過去幾度となく洪水被害を受けていることから、貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせるよう河川等の整備を図る。また、植物ではメヒルギや昆虫ではツマグロキチョウ等の希少種が生息・生育・繁殖している自然豊かな河川環境を保全・継承するとともに、流域の歴史、文化を踏まえ、魅力ある川づくりを目指すため、関係機関や地域住民との連携を強化し、河川の多様性を意識しつつ治水・利水・環境にかかわる施策を総合的に展開する。

このような考え方のもとに、河川整備等の現状や河川環境の保全等を考慮し、また、関連地域の社会・経済情勢の発展に即応できるよう、河口から一貫した計画に基づき、河川の総合的な保全と利用を図る。

① 洪水、津波、高潮等による災害の発生防止または軽減に関する事項

洪水、津波、高潮等による災害の発生防止または軽減に関しては、流域内の資産状況・土地利用状況等の動向を勘案し、大浦川水系においては年超過確率1/30の規模の洪水を安全に流下させることを目標とする。その際、多様な動植物が生息・生育・繁殖できる良好な河川環境の保全等に努める。

あわせて、整備途上における施設能力以上の洪水や計画規模を超過した洪水に対しても被害を最小限に止めるため、河川砂防情報システムを十分活用した、防災情報の提供等のソフト対策の充実に努める。

② 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する事項並びに河川環境の整備と保全に関する事項

河川水の利用及び流水の正常な機能の保全に関しては、大浦川水系においては、これまで大規模な渇水は生じていないが、農業用水などに利用されていることから、今後は河川流量等の把握に努める。

河川環境の整備と保全に関しては、治水・利水面との調和を図り、流域の動植物の生息・生育・繁殖環境の保全に努める。また、人々に潤いを与える良好な河川景観を保全するなど、地域住民が河川に興味を持ち河川に親しみを感じるような川づくりを進めるとともに、地域と一体となった河川環境整備のための協力体制づくりに努める。

水質については、河川の利用状況、沿川地域の水利用状況、現状の環境を考慮し、関連機関や地域住民との連携を図りながら、水質の保全に努める。

③ 河川の維持管理に関する事項

河川の維持管理に関しては、洪水等による災害発生の防止または軽減、水利用及び流水の正常な機能の保全、河川環境の整備と保全の観点から、地域特性を踏まえ適切に行っていくものとする。

また、堤防・樋門等の河川管理施設の機能を確保するため、巡視点検、維持補修などを適切に行う。

2. 河川の整備の基本となるべき事項

(1) 基本高水並びにその河道及び洪水調節施設への配分に関する事項

基本高水のピーク流量については、既往洪水や流域規模、流域内の人口・資産などを踏まえ、県内河川とのバランスを考慮して、年超過確率 1/30 の規模の洪水を検討した結果、基準地点の磯間橋地点いそまばしにおいて 330m³/s とする。

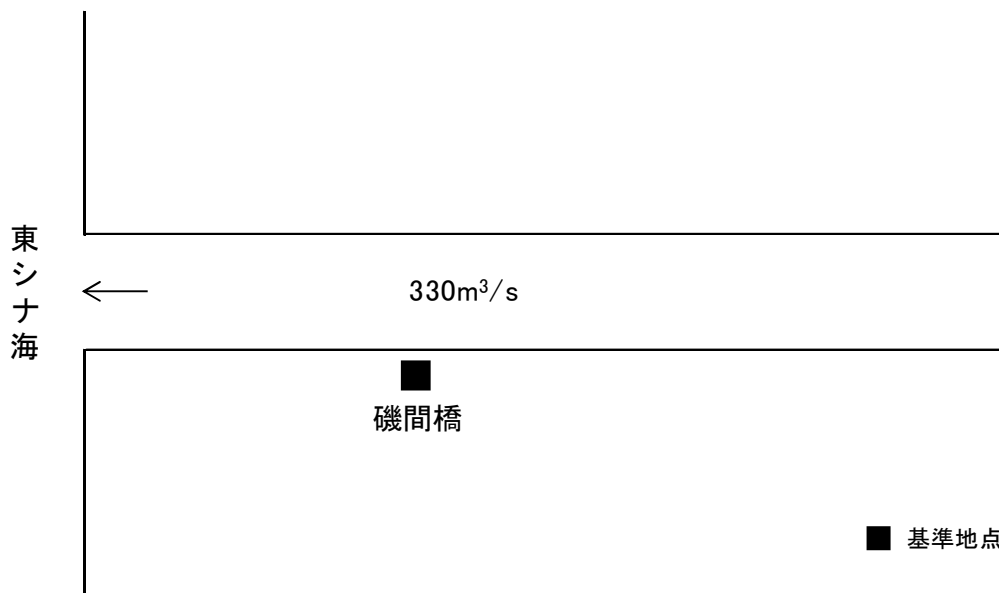
基本高水のピーク流量等一覧表

(単位:m³/s)

河川名	基準地点	基本高水のピーク流量	洪水調節施設等による調節流量	河道への配分流量
大浦川	磯間橋	330	0	330

(2) 主要な地点における計画高水流量に関する事項

大浦川における計画高水流量は、磯間橋において 330m³/s とする。



大浦川水系計画高水流量図

(3) 主要な地点における計画高水位及び計画横断形に係る川幅に関する事項

本水系の主要な地点における計画高水位及び計画横断形に係る概ねの川幅は、次表のとおりとする。

主要な地点における計画高水位及び計画横断形に係る川幅一覧表

河川名	地点名	河口からの距離 (k m)	計画高水位 (T. P. m)	川幅 (m)	摘要
大浦川	磯間橋	3.20	4.58	52.0	基準地点

(注) T. P : 東京湾中等潮位

(4) 主要な地点における流水の正常な機能を維持するため必要な流量に関する事項

大浦川水系における既得水利としては、農業用水としての許可水利や慣行水利がある。

流水の正常な機能を維持するために必要な流量については、流況を把握するとともに、河川の適正な利用や、動植物の保護及び流水の清潔の保持等に必要な流量について、今後調査検討を行うものとする。

(参考図) 大浦川水系概要図

